

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-2562

(43)公開日 平成9年(1997)1月7日

(51)Int.Cl.⁶
B 6 5 D 85/78
A 2 3 G 9/04
B 6 5 D 51/20

識別記号

庁内整理番号

F I

B 6 5 D 85/78
A 2 3 G 9/04
B 6 5 D 51/20

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数6 FD (全11頁)

(21)出願番号 特願平7-172987

(22)出願日 平成7年(1995)6月16日

(71)出願人 395011850

株式会社シェフレディー

神奈川県横浜市瀬谷区目黒町27番地の7

(72)発明者 前田 弘

神奈川県横浜市瀬谷区目黒町27-7 株式
会社シェフレディー内

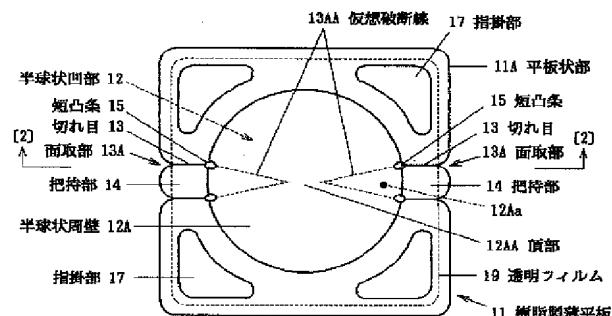
(74)代理人 弁理士 御園生 芳行

(54)【発明の名称】 アイスクリーム容器

(57)【要約】

【目的】 半球状凹部12にアイスクリームの発泡状原料を注入して冷凍させた後、半球状凹部12まわりの平板部11Aの把持部14を引張って半球状周壁12Aの一部12Aaを引き引き裂き、半球状アイスクリームAを型崩れなく排出できるアイスクリーム容器を、ローコストで提供する。

【構成】 樹脂製薄平板11に形成した半球状凹部12まわりの対向する平板状部11Aに、同半球状凹部12の半球状凹部12Aに向う一対の切れ目13、13を所要間隔を存して設けると共に、同半球状周壁12Aの下部で、前記切れ目13、13の延長線上に、当該半球状周壁12Aの頂部12AAに向い、同半球状周壁12Aの切り裂きガイドとしての短凸条15、15を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】樹脂製薄平板11、21···71に形成した半球状凹部12、22···72まわりの平板部11A、21A···71Aに指掛け部17、27···77を設けると共に、前記平板部11A、21A···71A側縁の中央部に、前記半球状凹部12、22···72の半球状周壁12A、22A···72Aに向う一対の切れ目13、13、23、23···73、73を適宜間隔を存して設け、かつ、該切れ目13、13、23、23···73、73の延長線に対応する前記半球状周壁12A、22A···72A下部に、当該半球状周壁12A、22A···72Aの頂部12AA、22AA···72AA方向へ立上がる短凸条15、15、25、25···75、75等の切裂きガイドを設けたことを特徴とするアイスクリーム容器。

【請求項2】前記半球状凹部22、53まわりの平板部21A、51Aに形成した一対の切れ目23、23···、53、53···を外開きV状に形成したことを特徴とする請求項1記載のアイスクリーム容器。

【請求項3】前記短凸条15、15、25、25···75、75等の切裂き用ガイドが、前記半球状周壁12A、22A···72A下部で、前記一対の切れ目13、13、23、23···73、73の延長線の外側隣接位置に配設されていることを特徴とする請求項1又は2記載のアイスクリーム容器。

【請求項4】帯状の樹脂製薄平板41、51、61、71をほぼ等分するように、適宜間隔を存して複数の半球状凹部42、42、52···72、72を形成すると共に、該各半球状凹部42、42、52、52···72、72まわりの平板状部41A、41A、51A、51A···71A、71Aに適宜形状の指掛け部47、47、57、57···77、77を形成し、かつ、前記平板状部41A、41A、51A、51A···71A、71Aの側縁に、適宜間隔を存して一対の切れ目43、43、53、53···73、73を設け、該切れ目43、43、53、53···73、73の延長線に対応する、前記各半球状凹部42、42、52、52···72、72を形成する半球状周壁42A、42A、52A、52A···72A、72A下部に、当該半球状周壁42A、42A、52A、52A···72A、72Aの頂部42AA、42AA、52AA、52AA···72AA、72AA方向に立上がる短凸条45、45、55、55···75、75等の切裂きガイドを設けたことを特徴とするアイスクリーム容器。

【請求項5】前記帯状の樹脂製薄平板41、51、61をほぼ等分するように適宜間隔を存して設けた複数の半球状凹部42、42、52、52、62、62の相隣るもの側縁部に、分離用切欠部48、48、58、58、68、68を設けたことを特徴とする請求項4記載のアイスクリーム容器。

【請求項6】前記帯状の樹脂製薄平板61に形成した複数の半球状凹部62、62···まわりの平板部61A、61A···に形成した指掛け部67、67···の、当該帯状樹脂製薄平板61の巾方向の側縁部67A、67Aが、同帯状樹脂製薄平板61の中央部近傍まで直線状に延設されていることを特徴とする請求項5記載のアイスクリーム容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明はアイスクリーム容器、殊に、樹脂製薄平板に形成した半球状凹部にアイスクリームの発泡状原料を予め注入、冷凍させて半球状アイスクリームとした後、該半球状アイスクリームの充填されたアイスクリーム容器から、同半球状アイスクリームを容易に取出せるアイスクリーム容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の樹脂製薄平板に形成した半球状凹部にアイスクリームの発泡状原料を予め注入、冷凍させて半球状アイスクリームとした後、該半球状アイスクリームの充填されたアイスクリーム入り容器から、その半球状アイスクリームを取出すようにしたアイスクリーム容器としては、例えば、実開昭62-16, 290号公報及び特公平5-23, 733号公報等がある。

【0003】実開昭62-16, 290号公報記載のアイスクリーム容器は、樹脂製薄平板の中央部に形成した半球状凹部まわりの平板端縁に切れ目を設け、その樹脂製薄平板の半球状凹部にアイスクリームの発泡状原料を注入、冷凍して、半球状アイスクリームの充填されたアイスクリーム入り容器とし、必要に応じてこのアイスクリーム容器を、その平板状周縁部の切れ目から引裂いて半球状アイスクリームを取出すものである。

【0004】また、特公平5-23, 733号公報記載のアイスクリーム容器は、樹脂製薄平板に形成した半球状凹部の周壁に沿って、同半球状凹部をほぼ二等分する断面V形の凹条を設けると共に、このV形凹条に端縁が達する切込みを前記平板部に設け、前記半球状凹部まわりの平板部の切込み両側に設けた指掛け用の凹凸部を把持して引張ることにより、その半球状凹部をその周壁に設けたV形凹条に沿って分割可能にしたものである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記実開昭62-16, 290号公報記載のアイスクリーム容器にあっては、樹脂製薄平板に形成した半球状凹部にアイスクリームの発泡状原料を注入、冷凍して容器入りアイスクリームとした後、このアイスクリーム入り容器の半球状凹部まわりの平板部を把持してその切れ目から半球状周壁を引裂き、該半球状凹部から半球状アイスクリームを排出するもので、従前のアイスクリームボックス内に製造したアイスクリームをアイスクリームディッシュ

ュを用いて取出す手法に比べれば、その取扱いが著しく簡易化される利点はあるものの、このアイスクリーム容器にあってはその平板状周縁の切欠部を引張って半球状周壁を引き裂く際、アイスクリーム容器の半球状周壁が不規則に引き裂かれ、ひいては当該半球状凹部に充填、形成された半球状アイスクリームの型崩れを招くきらいがあった。

【0006】また、前記特公平5-23, 733号公報記載のアイスクリーム容器は、半球状凹部の周壁部に沿う半円状のV状溝を形成したことにより、同半球状凹部まわりの平板部に形成した指掛け用凹凸部を把持して引張り、半球状周壁をV状溝部から引き裂くもので、半球状アイスクリームの半球状凹部からの排出を前記実開昭62-16, 290号公報記載のものより一層容易に行なえるものの、その指掛け用凹凸部を人手で把持して分割する際、半球状周壁に形成したV形凹溝まわりへ応力が集中する余り、半球状凹部に充填、成形された半球状アイスクリームの型崩れを招くきらいがあるばかりでなく、このアイスクリーム容器の半球状周壁の全長に亘ってV形凹溝を形成するため、その成形型の半球状凸部の全長に亘ってV形凸溝を均一高さに形成する加工が面倒である等、なお、コスト高を招くきらいがあった。

【0007】この発明は、前記のような従来例のアイスクリーム容器にお残る課題に着目してなされたもので、樹脂製薄平板11、21・・・71に形成した半球状凹部12、22・・・72まわりの平板部11A、21A・・・71Aに、その外側から半球状凹部側(内側)に向う一対の切れ目13、13、23、23・・・73、73を設けると共に、該切れ目13、13、23、23・・・73、73の延長線に対応する前記半球状凹部12、22・・・72の半球状周壁12A、22A・・・72A下部に引き裂きガイド15、15、25、25・・・75、75を設けることにより、前記一対の切れ目13、13、23、23・・・73、73間の把持部14、24・・・74を引張ると、前記半球状周壁12A、22A・・・72Aの一部12Aa、22Aa・・・72Aaを引き裂いて分離した後、半球状周壁12A、22A・・・72Aの残る頂部12AA、22AA・・・72AA近傍を外側から押圧し、又は同半球状周壁12A、22A・・・72Aの下部を外側へ引張ることにより、当該半球状凹部12、22・・・72内に充填、成形された半球状アイスクリームA、A・・・を、型崩れなく排出できるアイスクリーム容器を提供しようとするものである。

【0008】また、帯状の樹脂製薄平板41、51、61、71に適宜間隔を存して複数の半球状凹部42、42、52、52・・・72、72をほぼ等間隔に形成すると共に、該各半球状凹部42、42、52、52・・・72、72まわりの平板部41A、41A、51A、51A・・・71A、71Aに形成した指掛け部47、

47、57、57・・・77、77の相隣るものの中間部から、前記各半球状凹部42、42、52、52・・・72、72を分離して単位アイスクリーム容器とし、該各単位アイスクリーム容器の各半球状凹部42、42、52、52・・・72、72まわりの平板部41A、41A、51A、51A・・・71A、71Aに設けた一対の切れ目43、43、53、53・・・73、73間の把持部44、44、54、54・・・74、74を引張ることにより、前記半球状周壁42A、52A、62A、72Aの一部42Aa、52Aa、62Aa、72Aaを引き裂いて分離した後、各半球状周壁42A、52A、62A、72Aの残る頂部42AA、52AA、62AA、72AA近傍を外側から押圧し、又は前記半球状周壁42A、52A、62A、72Aの下部を外側へ引張することにより、当該半球状凹部42、52、62、72内に充填、成形された半球状アイスクリームA、A・・・を型崩れなく排出でき、しかも、複数個の半球状アイスクリームA、A・・・を同時に成形可能なアイスクリーム容器を提供する。

【0009】

【課題を解決するための手段】この発明は、前記のような課題を解決するため、樹脂製薄平板11、21・・・71に形成した半球状凹部12、22・・・72まわりの平板部11A、21A・・・71Aに指掛け部17、27・・・77を設けると共に、前記平板部11A、21A・・・71A側縁の中央部に、前記半球状凹部12、22・・・72の半球状周壁12A、22A・・・72Aに向う一対の切れ目13、13、23、23・・・73、73を適宜間隔を存して設け、かつ、該切れ目13、13、23、23・・・73、73の延長線に対応する前記半球状周壁12A、22A・・・72A下部に、当該半球状周壁12A、22A・・・72Aの頂部12AA、22AA・・・72AA方向へ立上がる短凸条15、15、25、25・・・75、75等の切り裂きガイドを設けたアイスクリーム容器であり、また、前記半球状凹部22、53まわりの平板部21A、51Aに形成した一対の切れ目23、23・・・53、53・・・を外開きV状に形成したものであり、また、前記短凸条15、15、25、25・・・75、75等の切り裂き用ガイドが、前記半球状周壁12A、22A・・・72A下部で、前記一対の切れ目13、13、23、23・・・73、73の延長線の外側隣接位置に配設したものである。

【0010】さらに、帯状の樹脂製薄平板41、51、61、71をほぼ等分するように、適宜間隔を存して複数の半球状凹部42、42、52、52・・・72、72を形成すると共に、該各半球状凹部42、42、52、52・・・72、72まわりの平板部41A、41A、51A、51A・・・71A、71Aに適宜形状の指掛け部47、47、57、57・・・77、77を形

成し、かつ、前記平板状部41A、41A、51A、51A・・・71A、71Aの側縁に、適宜間隔を存して一対の切れ目43、43、53、53・・・73、73を設け、該切れ目43、43、53、53・・・73、73の延長線に対応する、前記各半球状凹部42、42、52、52・・・72、72を形成する半球状周壁42A、42A、52A、52A・・・72A、72A下部に、当該半球状周壁42A、42A、52A、52A・・・72A、72Aの頂部42AA、42AA、52AA、52AA・・・72AA、72AA方向に立上がる短凸条45、45、55、55・・・75、75等の切裂きガイドを設けたアイスクリーム容器であり、また、前記帯状の樹脂製薄平板41、51、61をほぼ等分するように適宜間隔を存して設けた複数の半球状凹部42、42、52、52、62、62の相隣るもの側縁部に、分離用切欠部48、48、58、58、68、68を設けたものであり、また、前記帯状の樹脂製薄平板61に形成した複数の半球状凹部62、62・・・まわりの平板部61A、61A・・・に形成した指掛け部67、67・・・の、当該帯状樹脂製薄平板61の巾方向の側縁部67A、67Aが、同帯状樹脂製薄平板61の中央部近傍まで直線状に延設したものである。

【0011】(作用)この発明は、前記のような構成を有するからアイスクリームの発泡状原料を樹脂製薄平板11、21・・・71の半球状凹部12、22・・・72に予め注入した後、必要に応じてその開口側に透明又は半透明フィルム19、29・・・79を張り付け、図示しない適宜の冷凍装置により冷凍してアイスクリーム入り容器とし、かかる後、このアイスクリーム容器の半球状凹部12、22・・・72まわりの平板状部11A、21A・・・71Aの指掛け部17、27・・・77を持する一方、同平板状部11A、21A・・・71Aに設けた一対の切れ目13、13、23、23・・・、73、73間の把持部14、24・・・74を引張り、半球状周壁12A、22A・・・62Aの一部12Aa、22Aa・・・72Aaを引き裂き用ガイド15、15、25、25・・・75、75に沿って、その頂部12AA、22AA・・・72AA近傍まで引き裂く。次いで、半球状周壁12A、22A・・・72Aの残る頂部12AA、22AA・・・72AA近傍をその外側から押圧し、又は同半球状周壁12A、22A・・・72Aの下部を外側へ引張ることにより、同半球状周壁12A、22A・・・72A内の半球状アイスクリームA、A・・・を、半球状凹部12、22・・・72外へ排出する。

【0012】また、帯状の樹脂製薄平板41、51、61、71に形成した複数の半球状凹部42、42、52、52、62、62、72、72に、アイスクリームの発泡状原料を予め注入し、必要に応じてその開口部外側に透明又は半透明フィルム49、59、69、79を

張り付け、図示しない適宜冷凍装置により冷凍して、半球状アイスクリームの複数個充填されたアイスクリーム容器とした後、帯状の樹脂製薄平板41、51、61、71の相隣る半球状凹部42、42、52、52、62、62、72、72まわりの平板部41A、41A、51A、51A、61A、61Aに設けた指掛け部47、47、57、57、67、67を把持して両側へ引張ることにより、帯状の樹脂製薄平板41、51、61をそ側縁の分離用切欠部48、48・・・、58、58・・・、68、68・・・から引き裂き、又は相隣る指掛け部77、77間の帯状樹脂製薄平板71を挟み等により切り裂くことにより、半球状アイスクリームA、A・・・の充填された半球状凹部42、52、62、72を備える単位アイスクリーム容器の必要個数を、帯状の樹脂製薄平板41、51、61、71から分離する。

【0013】分離後の単位アイスクリーム容器の半球状凹部42、52、62、72まわりの平板部41A、51A、61A、71Aに設けた一対の切れ目43、43、53、53、63、63、73、73間の把持部44、54、64、74を引張り、半球状凹部42、52、62、72の半球状周壁42A、52A、62A、72Aの一部42Aa、52Aa、62Aa、72Aaを、その下部の切り裂きガイドとしての短凸条45、45、55、55、65、65、75、75に沿って、その頂部42AA、52AA、62AA、72AA近傍まで引き裂く等、以後は前記ほぼ同様な操作要領により、半球状アイスクリームA、A・・・を半球状凹部42、52、62、72外へ排出する。

【0014】

【実施例】以下、この発明に係るアイスクリーム容器の第1～第7実施例を、図1～図9を参照して説明する。なお、ここでは各実施例を省略する全図面を通して、共通ないし対応する部分には同一名称を用い、また、各部の符号については共通ないし対応する部分の符号の1位数を同一数とし、それらの10位数の1～7により第1～第7実施例を区別して説明する。

【0015】

【第1実施例】図1～図3はこの発明に係るアイスクリーム容器の第1実施例の模式説明図で、図1はその模式平面説明図、図2は図1の矢印線〔2〕-〔2〕に沿う模式縦断説明図、図3は図2の状態から切れ目線13、13間の把持部14を把持して外側へ引張った状態の模式縦断面説明図である。

【0016】図1～図3において、11は平板状の樹脂製薄平板、11Aは樹脂製薄平板11の平板状部、12は平板状部11Aの中央に形成した半球状凹部、12Aは半球状凹部12の半球状周壁、12AAは半球状周壁12Aの頂部、13は平板状部11Aの外側から内側に達するように適宜の間隔を存して設けた一対の切れ目、13Aは面取り部、14は両切れ目13、13間の把持

部、15、15は半球状周壁12Aの下部(図2)において、同半球状周壁12Aの外側へ突出するように設けた短凸条で、この短凸条15は半球状周壁12Aの頂部12AAに向い、前記切れ目13、13の延長線上に位置するように設けられ、半球状周壁12Aの一部12Aaを引き裂く際にえけるガイド機能を奏する。

【0017】前記切れ目13、13の間隔は同切れ目13、13間の把持部14の把持に支承がない限り狭く構成できる。また、前記短短凸条15は図示しないが、後述の図5に示す第3実施例のように切れ目13(図5では33)の延長線の外側に位置するように設けることもでき、この場合には同短凸条15による引き裂きガイド機能が一層増進される。

【0018】なお、図1～3では球状周壁12Aの一部12Aaの引き裂きガイドとしての短凸条15を、半球状周壁12Aの外側へ突設する例を略示したが、この短凸条15は図示しないが同半球状周壁12A下部の内側に突出する凹条として形成してもよく、この場合においても前記図示例とほぼ同様な引き裂きガイド機能を期待できる。

【0019】(第1実施例の作用)樹脂製薄板11の平面部11A中央に形成した半球状凹部12にアイスクリームの発泡状原料を予め注入し、その上部(図2では下側)に透明又は半透明のフィルム19を張り付けた後、図示しない冷凍装置により冷凍して半球状アイスクリームAの充填されたアイスクリーム容器とする。

【0020】このアイスクリーム容器を図示しない冷凍庫、冷凍室等に収納し、又はそのまま適所へ輸送し、必要に応じてこのアイスクリーム容器を冷凍庫等から取出し、その半球状凹部12まわりの平板状部11Aの指掛部17等を片手で把持し、他方の手で透明又は半透明フィルム19を剥離した後、平板状部11Aに設けた一对の切れ目13、13間の把持部14を上外側(図2、3)へ引張ると、引張力が短凸条15、15部を介して半球状周壁12Aの頂部12AA方向に伝達され、その応力集中により同半球状周壁12Aが図1に一点破線で略示する仮想破断線13AAのように破断され、図3に一点鎖線12Aaで略示するように半球状周壁12Aの一部(引き裂き部)12Aaが分離される。

【0021】半球状周壁12Aからのこの引き裂き部12Aaの分離により、剛性の低下した同半球状周壁12Aの残る頂部12AAの両側(図1では上下両側、図2、3では紙面の手前側とその向い側)を押圧するか、又は同半球状周壁12A下部まわりの平板状部11A、11Aを外側へ引張ると、半球状凹部12内の半球状アイスクリームAの上部がその上外側から下方へ押出され、何れの場合にも半球状アイスクリームAに人手を触れることなく、半球状凹部12の外側(図2、3では下側)へ排出する。

【0022】なお、本発明者の実験によれば、前記把持

部14を引張って半球状周壁12Aの一部12Aaを引き裂いた際、前記左右の引き裂き部12Aa、12Aaの頂部、したがって、仮想破断線13AA、13AAの頂部が前記半球状周壁12Aの頂部12AA部の最上位まで達する例は殆ど見られなかった。また、仮に、この半球状周壁12Aが前記引き裂き部12Aa、12Aaにより左右の分離された場合においても、同半球状周壁12Aの残る頂部12AAをその両側から押圧することにより、又は同半球状周壁12A下部の平板状部11A、11Aを両側へ引張ることにより、半球状アイスクリームAを同半球状凹部12外へ前記と同様に排出できた。

【0023】

【第2実施例】図4はこの発明に係るアイスクリーム容器の第2実施例の模式平面説明図で、樹脂製薄平板21の中央部に半球状凹部22を形成し、該半球状凹部22まわりの平板部21Aの両側(図4)対向位置に一对の切れ目23、23をほぼ外開きV状をなすように設け、この切れ目23、23の延長線上で、半球状周壁22Aの下部(図4では左右両側部)に、同半球状周壁22Aの頂部22AAに向う引き裂きガイドとしての短凸条25、25を設けたものである。

【0024】この第2実施例では平板状部21Aに一对の切れ目23、23を外開きV状に形成したから、該切れ目23、23間に形成される把持部24、24の基部(半球状周壁22Aの下部寄り)を広げることなく、持ち易い広巾に形成できる外、把持部24を引張る際の引張力が同切れ目23、23線の延長方向への伝達性が向上し、したがって、同半球状周壁22Aから引き裂かれる部分22Aaの大きさ、形状等を、前記第1実施例の引き裂き部12Aaより小さく構成でき、ひいては、半球状周壁22Aを不用意に大きく破断する恐れがない。なお、23Aは面取り部、29は透明又は半透明フィルムであり、その他の構造及び作用等は前記第1実施例とほぼ同様である。

【0025】

【第3実施例】図5はこの発明に係るアイスクリーム容器の第3実施例の模式平面説明図で、半球状周壁32Aの下部に設ける引き裂きガイドとしての短凸条35、35を、半球状周壁32Aまわりの平板状部31Aに設けた一对の切れ目33、33の延長線の外側(図5では上側及び下側)に隣接し、かつ、半球状周壁32Aの頂部32AAへ向って起立するうように形成したので、把持部34を張引すると半球状周壁32Aの引き裂き部32Aaが、同短凸条33、33の内側に沿って、その頂部32AA方向に引き裂かれ、これにより同半球状周壁32Aへの不規則な引き裂き発生が、前記第2実施例よりさらに抑制される。

【0026】なお、この第3実施例は前記第1実施例のアイスクリーム容器における半球状周壁12A下部に設けた短凸条15、15を、同半球状周壁12Aまわりの

平板状部11Aに設けた一対の切れ目13、13の延長線の外側に隣接するように配設すると共に、同半球状周壁12Aの頂部12AA方向に立上がるよう形成したものに当る。33Aは面取り部、39は透明又は半透明のフィルムである。その他の構造及び作用は前記第1、第2実例とほぼ同様である。

【0027】

【第4実施例】図6はこの発明に係るアイスクリーム容器の第4実施例の模式平面説明図で、帯状の樹脂製薄平板41に所要間隔を存して複数の半球状凹部42、42···を形成し、該半球状凹部42、42···まわりの平板状部41A、41A···に指掛部47、47···を形成すると共に、該平板状部41A、41A···の中央部に適宜間隔を存して一対の切れ目43、43を設け、該切れ目43、43の延長線上の外側隣接位置に当る前記半球状周壁43Aの下部に、同半球状周壁43Aの引き裂きガイドとしての短凸条45、45を、当該半球状周壁42Aの頂部42AA方向に立上がるよう形成する。

【0028】43Aは面取部、48、48は前記帯状の樹脂製薄平板41の両側に所要間隔を存して設けた同帶状の樹脂製薄平板41の分離用切欠部で、この分離用切欠部48、48···は前記半球状凹部42A、42Aの相隣るものの中間部に設けられる。49は透明又は半透明のフィルムである。

【0029】なお、第4実施例は前記図5に略示した第3実施例の半球状凹部32を有する単位のアイスクリーム容器を、図5の状態から同図形中心に時計又は反時計方向に90°回転させたものを5個横並びに連設し、相隣する単位アイスクリーム容器の側縁部相当位置の上下縁部に、分離用切欠部48、48···を形成したものといえる。

【0030】(第4実施例の作用) 帯状の樹脂製平板41に形成した5個の半球状凹部42、42···にアイスクリームの発泡状原料を予め注入、充填した後、必要に応じてその開口部に透明又は半透明フィルム49を張り付け、図示しない冷凍装置により冷凍して半球状アイスクリームA、A···の充填されたアイスクリーム容器とする。

【0031】この半球状アイスクリーム入り容器を冷凍装置等から取出し、半球状凹部42、42···周縁の平板状部41A、41A···の相隣る指掛部47、47を把持して両側(図6では左右両側)へ引張って、分離用切欠部48から同帶状の樹脂製薄平板41を引き裂き、必要個数の単位アイスクリーム容器をその都度分離して使用するもので、引き裂き後の単位アイスクリーム容器の半球状凹部42、42···からの半球状アイスクリームA、A···の排出要領は、前記第3実施例とほぼ同様である。

【0032】なお、帯状の樹脂製薄平板41の広さ(巾

及び長さ)と分離用切欠部48、48···等を増減することにより、半球状凹部42、42···を4個又は6個、若しくは8個、10個、12個···等を具備するよう構成できる。また、前記分離用切欠部48、48の大きさ、間隔、形状等は適宜に選択できる。

【0033】また、前記帯状樹脂製平板41の両側縁に設けた対向する切欠部48と48との間に、肉薄部又はミシン目(図示省略)等を設ければ、この帯状の樹脂製薄平板41からの単位アイスクリーム容器の分離を前記実施例より一層容易に行なえるが、係る薄肉部又はミシン目入りアイスクリーム容器の製造には、同薄肉部又はミシン目形成のため、当該アイスクリーム容器の成型用金型に対応する形状変更を要し、相応のコスト高を招くらしいがある。

【0034】

【第5実施例】図7はこの発明に係るアイスクリーム容器の第5実施例の模式平面説明図で、この第5実施例は前記図4に略示した第2実施例の単位アイスクリーム容器を5個横並びに配列し、隣接する単位アイスクリーム容器間の両側に、分離用切欠部58、58を形成したものに当る。

【0035】第5実施例のアイスクリーム容器は、帯状の樹脂製薄平板51に連設した5個の半球状凹部52、52···にアイスクリームの発泡状原料を予め充填した後、図示しない適宜冷凍装置により冷凍させてアイスクリーム入り容器とし、必要に応じて所要個数分の透明又は半透明フィルム59を引き離した後、対応する半球状凹部52、52···まわりの平板部51A、51Aの指掛部57、57を図7において左右に引張ると、帯状樹脂製薄平板51の側縁に設けた切欠部58から同帶状樹脂製薄平板51が引き裂かれ、必要個数の単位アイスクリーム容器を分離する。

【0036】分離された単位アイスクリーム容器の半球凹部52まわりの平板部51Aの指掛部57を把持する一方、同平板部51Aの一対の切れ目53、53間の把持部54を引張ると、その引張力が引き裂きガイドとしての短凸条55、55に沿って半球状周壁52Aへ伝達され、その一部52Aaが仮想破断線(一点鎖線)53AA、53AAのよう引き裂く。次いで、引き裂き部52Aaの欠落した半球状周壁52Aの残る頂部52AAをその上外側から押圧し、又は半球状周壁52A下部の平板状部51A、51Aを左右(図7では上下)へ引張ると、半球状アイスクリームAが半球状凹部52Aへ排出される。

【0037】第5実施例では切れ目53、53を外開きV状に形成すると共に、短凸条55、55を同外開きV状切れ目53、53の延長線の外側に隣接するよう、半球状周壁52Aの下部に形成したので、V状把持部54の引張りにより発生する引張力が半球状周壁52Aに鋭角状(図7の仮想破断線53AA、53AAの頂角)に伝

達され、同半球状周壁52Aの下部が比較的小範囲52A a切り裂かれ、同半球状周壁52Aの不用意な過大引き避き発生が阻止される。なお、この外開きV状切れ目54、54の外開き角（頂角）は任意に選択できるが、過小、過大に選択することは望ましくない。その他の構造及び作用は前記第2実施例及び第4実施例とほぼ同様である。

【0038】

【第6実施例】図8はこの発明に係るアイスクリーム容器の第6実施例の模式平面説明図で、帯状の樹脂製薄平板61に5個の半球状凹部62、62…をほぼ等間隔に形成すると共に、各半球状凹部62、62…まわりの平板状部61A、61A…に形成する指掛け部67、67…、例えば、同図8の左側2個の隣接する半球状凹部62、62まわりの指掛け部67、67の互いに対向する側縁部67A、67Aを直線状に形成すると共に、同帯状樹脂製薄平板61の巾（図8では上下）方向の中央部近傍まで長く形成したものである。

【0039】第6実施例は図6に暗示した第4実施例における平板部41に形成した指掛け部47の外側部を、隣接する半球状凹部42、42まわりに設けた指掛け部47に対向する側を、帯状樹脂製薄平板41の中央部近傍まで長く形成したものに対応する。

【0040】（第6実施例の作用）第6実施例は相隣る半球状周壁62A、62Aまわりの平板部61A、61Aから僅かに上方（下方でも同様）へ突出するように設けた指掛け部67、67の側壁部67A、67Aが、当該帯状樹脂製薄平板61の巾（図8では上下）方向の中央部近傍まで長く形成されているから、同指掛け部67、67を左右に引張ることにより、それらの間に設けられ切れ部68に掛かる引張力が、隣接する指掛け部67、67の長い直線状側縁67A、67Aを越えて、同指掛け部67、67内に達する恐れが少なく、相隣る2つの指掛け部67、67の対向する長い直線状側縁67A、67Aに誘導されながら帯状樹脂製薄平板61の対側側縁まで伝達され、帯状樹脂製薄平板61からの単位アイスクリーム容器の分離を、隣接するアイスクリーム容器の半球状周壁62Aの不用意な引き裂きを招く恐れなく行なえ、そ分離を前記第4、5実施例より一層無理なく行なえる。なお、第6実施例のその他の構造及び作用は前記第4実施例及び第5実施例とほぼ同様である。

【0041】

【第7実施例】図9はこの発明に係るアイスクリーム容器の第7実施例の模式平面説明図で、帯状樹脂製薄平板71に適宜間隔を存して5個の半球状凹部72、72…をほぼ均等に形成すると共に、各半球状凹部72、72…まわりの平板状部71A、71A…の中央部に適宜間隔を存して一対の切れ目73、73を設け、該切れ目73、73の延長線の外側隣接位置に当る前記半球状周壁73A下部に、引き裂きガイドとしての

短凸条75、75を、同半球状周壁72Aの頂部72A A方向に立上がるよう形成したものである。73Aは面取部、79は透明又は半透明のフィルムである。

【0042】なお、第7実施例は前記図6に暗示した第4実施例のアイスクリーム容器の各半球状凹部42、42…間の切れ部48、48を欠除したものに当り、単位アイスクリーム容器の構造及び作用は同第4実施とほぼ同様である。しかし、この第7実施例では、図9の帯状樹脂製薄平板71に設けた複数の半球状凹部72、72…相互間の仮想分離線78A、78A…、すなわち、相隣る半球状凹部72、72まわりの互いに隣接する指掛け部72、72の中間部の仮想分離線78A、78A…に沿って、例えば、挿み等の適宜分離具により分離して単位アイスクリーム容器とするもので、帯状の樹脂製薄平板71部の構造が前記第4実施例（第5、6実施例も同様）よりさらに単純化される反面、単位アイスクリーム容器への分離に多少の手間のかかるきらいはある。分離後の単位アイスクリーム容器の作用等は前記各実施例とほぼ同様である。

【0043】また、図示しないが、切れ目73、73を外開きV状に形成すると共に、該外開きV形切れ目の延長線の外側に隣接する前記半球状周壁72Aの下部に短凸条73、73を設けることができる。さらに、この帯状樹脂製薄平板71に設けた複数の半球状凹部72、72…まわりの平板状部71A、71A…の指掛け部77、77…、例えば、図9の左側2個の隣接する半球状凹部72、72まわりの指掛け部77、77の互いに対向する側縁部（図8の符号67A、67Aに対応する側縁部）を直線状に長く形成し、当該帯状樹脂製薄平板71の巾（図9では上下）方向の中央近傍まで形成するこもでき、何れの場合にも単位アイスクリーム容器としては前記実施例とほぼ同様な作用をする。

【0044】なお、帯状の樹脂製薄平板71の広さ（巾及び長さ）を増減させることにより、半球状凹部72、72…の個数を増減させることができる外、その他の構造及び作用は前記第4～6実施例とほぼ同様である。

【0045】

【発明の効果】この発明は前記のような構成を有し作用をするから、次のような効果が得られる。

【0046】（1）樹脂製薄平板11、21…71に形成した半球状凹部12、22…72まわりの平板状部11A、21A…71Aに設けた一対の切れ目13、13、23、23…73、73間に把持部14、24…74を把持して引張ると、半球状周壁12A、22A…72Aの一部12Aa、22Aa…72Aaが引き裂きガイドとしての短凸条15、15、25、25…75、65を介して引き裂かれ、半球状周壁12A、22A…72Aの剛性が低下した残る頂部12AA、22AA…72AAを

その両側から押圧し、又は同半球状周壁下部の平板状部11A、12A…71Aを外側へ引張ることにより、半球状アイスクリームA、A…を半球状凹部12、22…72外へ、その型くずれ発生を招く恐れなく、しかも、人手を半球状アイスクリームAに触れることなく、また、アイスクリームディッシュ等を併用することなく、簡易、迅速に排出できる。

【0047】(2) 樹脂製薄平板11、21…71に設けた半球状凹部12、22…72まわりの平板状部11A、21A…71Aに、指掛け部17、27…77を設けると共に、該指掛け部17、17、27、27…77、77間に設けた一对の切れ目13、13、23、23…73、73間に把持部14、24…74を把持して引張ると、前記一对の切れ目13、13、23、23…73、73の延長線上で、前記半球状凹部12、22…72の半球状周壁12A、22A…72A下部に形成された引き裂きガイドとしての短凸条15、15、25、25…75、75を設けるだけの極めて簡易な構成であるから、このアイスクリーム容器の形成型を同種の従来例に比べて著しく簡易化でき、ひいては、このアイスクリーム容器をローコストで提供できる。

【0048】(3) 半球状周壁12A、22A…72Aまわりの平板状部11A、21A…71Aに設けた、把持部14、24…74を構成するための一对の切れ目13、13、23、23…73、73の両側に指掛け部17、17、27、27…77、77を形成したから、同指掛け部17、17、27、27…77、77による操作性が確保されると共に、同指掛け部17、17、27、27…77、77により把持部14、24…74まわりが補強され、ひいては所要強度のアイスクリーム容器を構成する樹脂製薄平板11、21…71の厚さを、同種の従来例より肉薄に構成できる。

【0049】(4) 半球状凹部12、22…72を形成した樹脂製薄平板11、21…71の対向位置に適宜間隔を存して、当該半球状周壁の頂部12A A、22AA…72AA中心に向う一对の切れ目13、13、23、23…73、73を設けると共に、該切れ目13、13、23、23…73、73の延長線の外側隣接位置に短凸条15、25…75又は短凹条等の切り裂きガイド設けたから、前記一对の切れ目13、13、23、23…73、73間に把持部14、24…74を引張ることにより、半球状周壁部12A、22A…72Aが同切れ目13、13、23、23…73、73の延長線方向に引き裂かれ、同半球状周壁12A、22A…72Aを不規則に引き裂く恐れがなく、ひいては半球状アイスクリームAの型崩れを招く恐れなく排出できる。

【0050】(5) 樹脂製薄平板11、21…7

1の半球状凹部12、22…72にアイスクリームの発泡状原料を注入した後、その上面に必要に応じて透明又は半透明フィルム19、29…69を張付け、冷凍して容器入りアイスクリームを製造できるから、同透明又は半透明フィルム19、29…79の張着により、アイスクリーム容器の平板状部とアイスクリームA、A…上面に密着し、臭気等がアイスクリームA、A…内に侵入する恐れのないものを、格別の大規模な装置を用いることなく容易に提供できる。

【0051】(6) 広面積の帯状の樹脂製薄平板41、51、61に所要の間隔を存し設けた切欠部48、48、58、58…68、68を形成すれば、帯状等の広面積の樹脂製薄板41、51、61に形成した多数の半球状凹部42、42…52、52…62、62…にアイスクリームの発泡状原料を注入した後、必要に応じて透明フィルム29、39、49を張付け、冷凍後の複数個の容器入りアイスクリームA、A…を、刃物等を用いることなく、その切欠部48、48…58、58…68、68…に沿って容易に分離でき、分離後のものは単位のアイスクリーム入り容器として、残余はものは複数のアイスクリーム入り容器として、それぞれ良好な取扱い性を確保できるものを容易に量産できる。

【0052】(7) 帯状樹脂製薄板61に設けた複数の半球状凹部62、62…の相隣るものまわりの平板部61A、61A…に設けた指掛け部67、67…の対向する側壁67A、67A…を、当該帯状樹脂製薄平板の巾方向に長く延びる直線状に形成すると共に、該指掛け部67、67…の対向する側壁67A、67A間に当該帯状樹脂製薄平板61の分離用切欠部68、68…を設ければ、帯状樹脂製薄板61に引き裂き用のミシン目、凹条等を設けることなく、同帯状樹脂製薄板61を規則的に引き裂くことができ、ひいては、半球状周壁62Aの不用意、不規則な引き裂きに基づく半球状アイスクリームの型崩れ発生を招く恐れのないものを提供できる。

【0053】(8) 帯状樹脂製薄可板71にはば等間隔に設けた複数の半球状凹部72、72…まわりの平板状部71A、71A…に指掛け部77、77…設けると共に、前記半球状凹部72、72…の相隣るもの指掛け部77、77の対向する側壁77A、77A間に仮想分離線78Aまわりから、挟み等の適宜切断分離手段により分離することにより、必要個数の単位アイスクリーム入り容器を隨時分離できるものを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明に係るアイスクリーム容器の第1実施例の模式平面説明図である。

【図2】 この発明の第1実施例の図1の矢印線〔2〕-〔2〕に沿う模式縦断説明図である。

【図3】指掛部を引張った状態における図2と同様な模式縦断説明図である。

【図4】この発明に係るアイスクリーム容器の第2実施例の模式平面説明図である。

【図5】この発明に係るアイスクリーム容器の第3実施例の模式平面説明図である。

【図6】この発明に係るアイスクリーム容器の第4実施例の模式平面説明図である。

【図7】この発明に係るアイスクリーム容器の第5実施例の模式平面説明図である。

【図8】この発明に係るアイスクリーム容器の第6実施例の模式平面説明図である。

【図9】この発明に係るアイスクリーム容器の第7実施例の模式平面説明図である。

【符号の名称】

11、21、31……樹脂製薄板

11A、21A、31A、41A、51A、61A、71A……平板状部

11AA、21AA、31AA、41AA……頂部

12、22、32、42、52、62、72……半球状凹部

12A、22A、32A、42A、52A、62A、72A……半球状周壁

12Aa、22Aa、32Aa、42Aa……引き裂き

部(半球状周壁の)

13、23、33、43、53、63……切れ目

13A、23A、33A、43A、53A、63A……面取り部

13AA、23AA、33AA、43AA、53AA、63AA……仮想破断線

14、14a、24、34、44、54、64、74……把持部

15、25、35、45、55、65、75……短凸条(切り避きガイド)

17、27、37、47、57、67、77……指掛部

18、28、38、48、58、68……切欠部

19、29、39、49、59、69、79……透明(又は半透明)フィルム

41、51、61、71……帶状の樹脂製薄板

48A、58A、68A……仮想破断線

51AA、61AA、71AA……頂部

52Aa、62Aa、72Aa……引き裂き部(半球状周壁の)

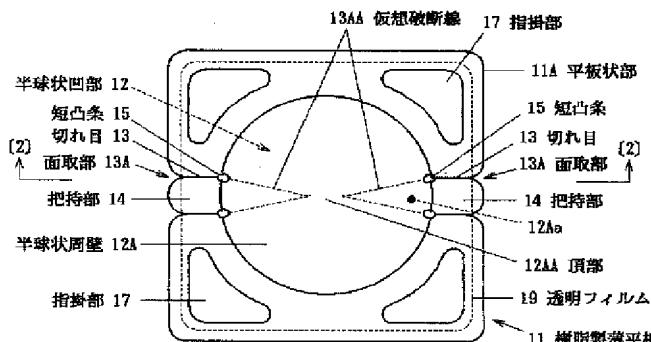
67A……指掛部67の長い直線状側壁

73AA……仮想切断線

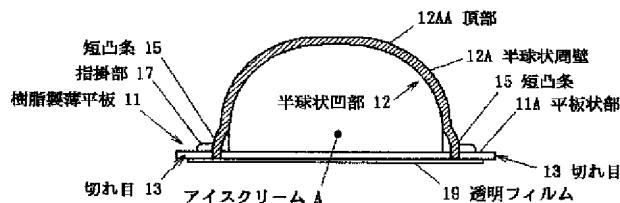
78A……仮想分離線

A……アイスクリーム

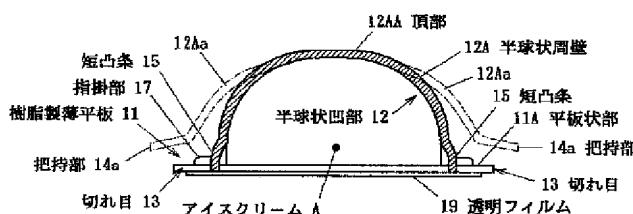
【図1】



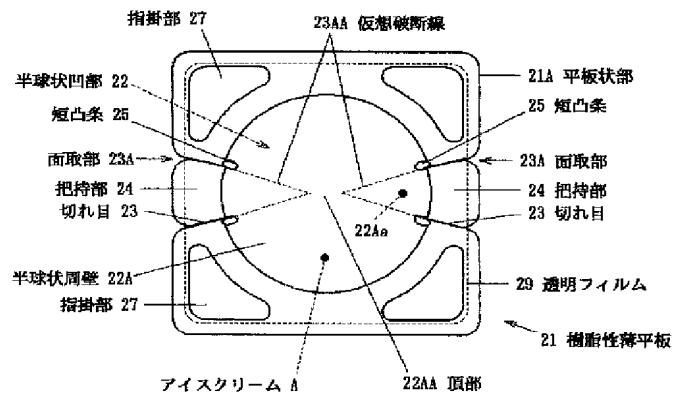
【図2】



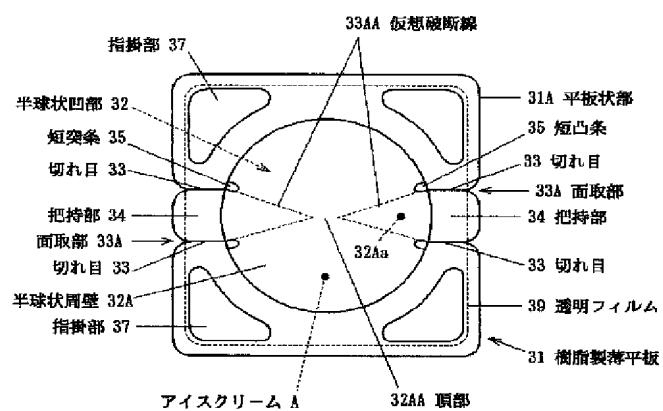
【図3】



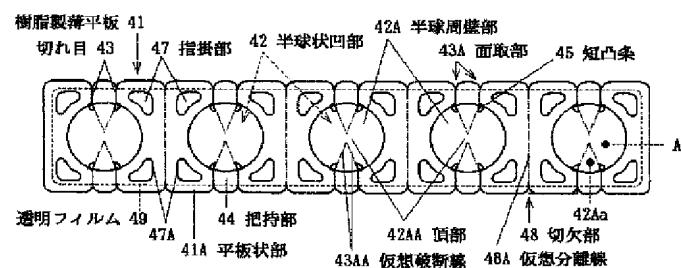
【図4】



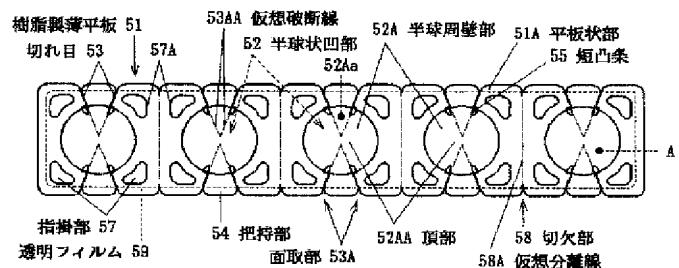
【図5】



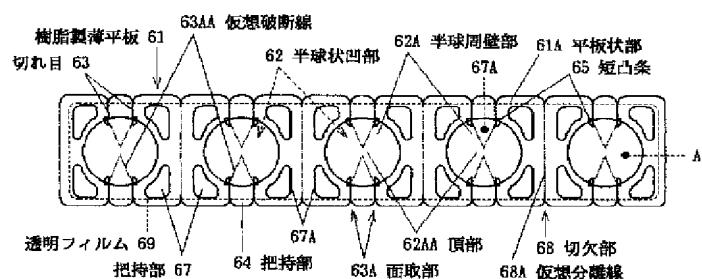
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

